

氏名	宮 澤 真 理
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2291号
学位授与の日付	平成14年3月25日
学位授与の要件	医学研究科病理系細胞生物学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	成長ホルモン療法を行った軟骨無形成症患者の耐糖能とbody mass index
論文審査委員	教授 井上 一 教授 榎野 博史 教授 岡 鋈次

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

軟骨無形成症の著明な低身長に対し成長ホルモン療法が行われている。軟骨無形成症患者は一見肥満に見えるが本疾患の肥満の基準はまだない。更に成長ホルモン療法中に耐糖能異常が生じることが他の疾患で報告されている。本疾患における肥満の基準、耐糖能異常の危険因子を明らかにする必要がある。そこで、成長ホルモン療法中の耐糖能異常と body mass index(以下 BMI)を含む諸因子の関係を検討した。

4年間以上成長ホルモン療法を行った軟骨無形成症患者 31 名を対象とし、成長ホルモン療法開始前と開始後 2 年毎に経口糖負荷試験(以下 OGTT)を行った。

成長ホルモン療法中に 6 名が OGTT で境界型を示した。単変量ロジスティック解析では、耐糖能異常の危険因子として BMI $\geq$ 23、成長ホルモン開始時高年齢、治療中の二次性徴の発来が抽出された。

これらの危険因子をもつ症例では、成長ホルモン療法を行ううえで特に留意する必要があると考えられた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は成長ホルモン療法を行った軟骨無形成症の耐糖能と body mass index を検らべ、従来明らかでなかった本療法中の危険因子について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。